

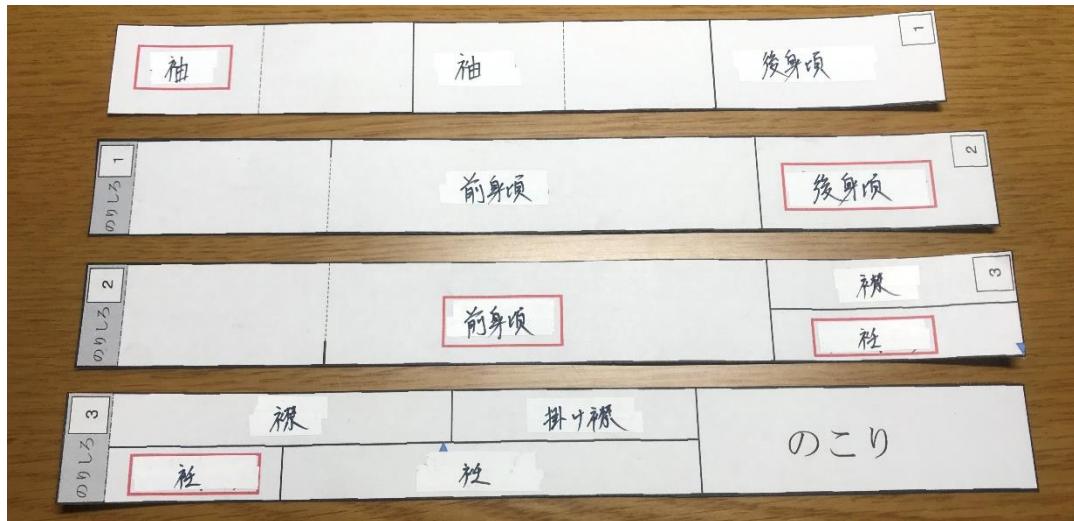
ペーパークラフトで“浴衣”を作ろう



私たちの体は、複雑の形をした立体です。その体を平面の布で覆うために、衣類にはいろいろな工夫がされています。和服は、直線に裁った布を縫い合わせて平面的な形にしていきます。着る際にはひもや帯を用いて体に合わせていきます。今回は、日本の伝統的な衣服である「浴衣」をペーパークラフトで作成して、和服の特徴や洋服との違いを見てみましょう。

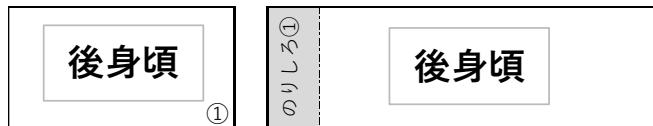
1 裁断①

- 1) 周囲の太線にそって切る。
- 2) ⇒の線にそって、4本に切り分ける。
*のりしろは切らないようにする。



2 のり付け

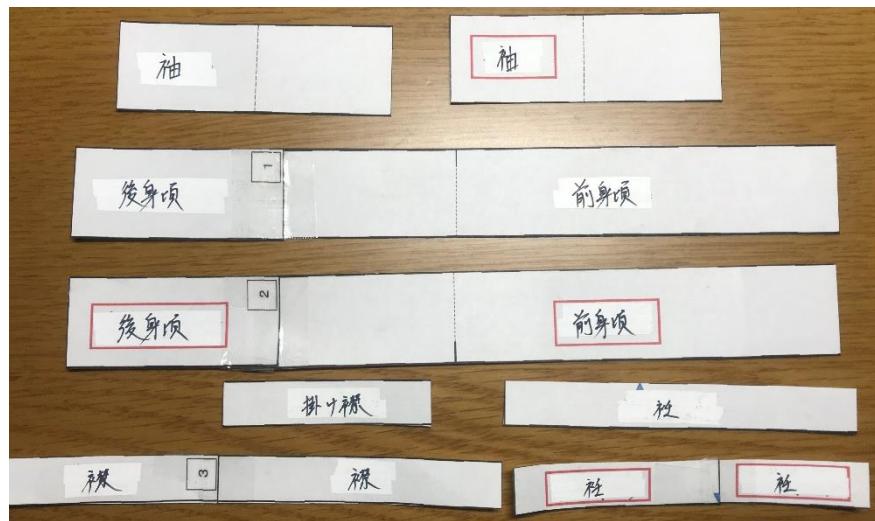
- 1) 同じ番号同士をのりしろで貼り合わせる。



3 裁断②

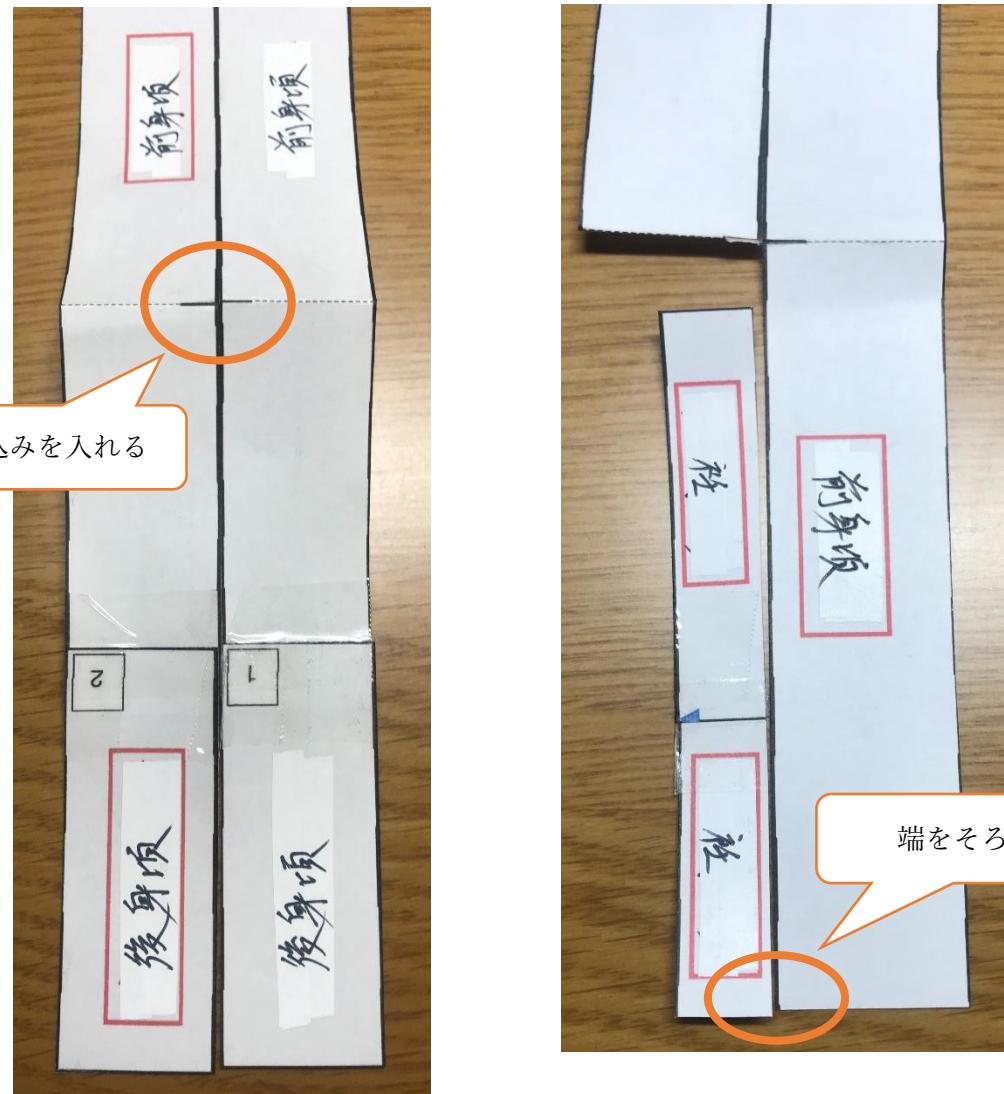
- 1) 細い線にそって切り、8つのパートにする。

*点線は切らないこと。



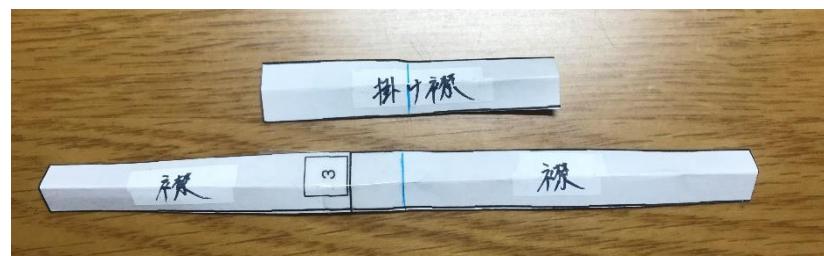
4 身頃・衽（背中心を合わせて、衽を付ける）

- 1) 後身頃の背中心を合わせてセロハンテープで貼る。
- 2) 肩を谷折りにして前に倒す。
- 3) 前身頃と衽のすそを合わせて、衽のたて中心が身頃の前端に位置するようにテープで止める。
- 4) 反対側も同様に行う。



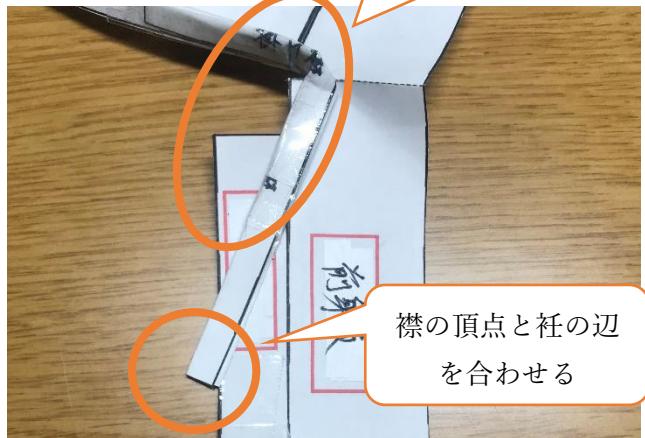
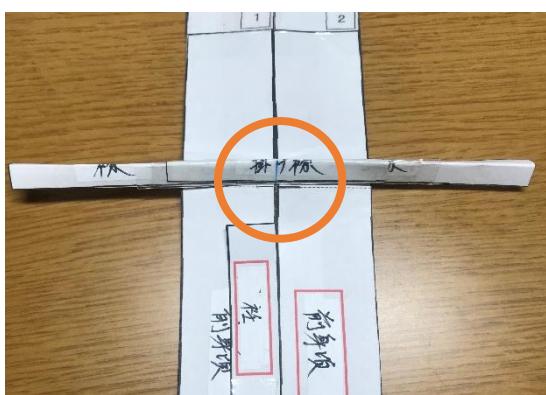
5 襟①

- 1) 襟と共襟の中央に折り目を付ける。（ここでは青線が中心）
- 2) 襟の中心に合わせて共襟を上からのせてのりで貼る。



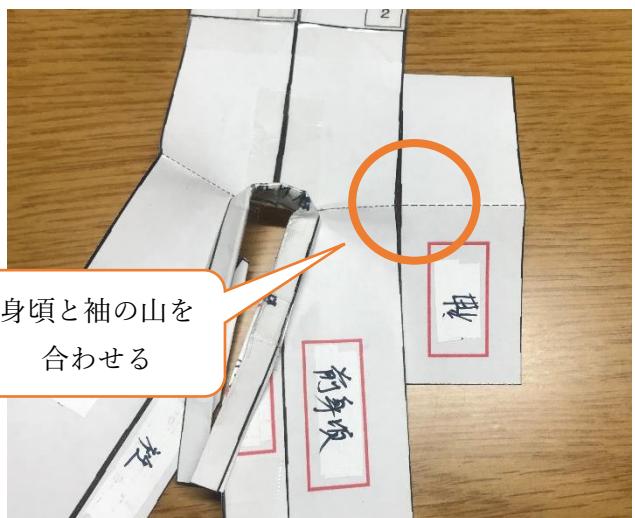
6 襪②

- 1) 襪と身頃の中心を合わせてセロハンテープで止める。
- 2) 片方の衽の端と襪の頂点を合わせて、余分な衽や身頃を折り込む。
余分な部分は折り込む
- 3) 反対側も同様に行う。



7 袖

- 1) 袖と前身頃を開き、身頃と袖の山折をそろえて並べる。
- 2) 内側をセロハンテープで止める。
- 3) 反対側も同様に行う。



8 仕上げ

- 1) 身頃のわき、袖の下をのりで貼る。
* すそと袖口はとめない。
- 2) 完成！



斜線部分をのりづけ

